

豊橋市新学校給食共同調理場（仮称）
整備等事業

審査講評

令和元年 7 月

豊橋市新学校給食共同調理場（仮称）整備等事業審査委員会

豊橋市新学校給食共同調理場（仮称）整備等事業審査委員会（以下「審査委員会」という。）は、豊橋市新学校給食共同調理場（仮称）整備等事業（以下「本事業」という。）に関して、落札者決定基準（平成31年2月15日公表、平成31年3月22日修正公表）に基づき、入札価格及び提案内容の審査を行い、落札者を決定しましたので、選定結果及び審査講評をここに報告いたします。

令和元年7月9日

豊橋市新学校給食共同調理場（仮称）整備等事業審査委員会
委員長 松本 博

1. 審査委員会の構成

審査委員会は次の5名により構成されています。（敬称略）

- | | | |
|------|--------|------------------|
| 委員長 | 松本 博 | （豊橋技術科学大学 名誉教授） |
| 副委員長 | 竹田 聡 | （愛知大学 教授） |
| 委員 | 上原 正子 | （愛知みずほ短期大学 客員教授） |
| 委員 | 高田 尚美 | （名古屋学芸大学 講師） |
| 委員 | 大林 利光※ | （豊橋市教育委員会 教育部長） |

※平成31年4月1日付人事異動に伴い前任者古池弘人から変更となりました。

2. 審査委員会の審査経緯

- ・平成30年10月29日：第1回審査委員会
（委員長選任、落札者決定基準等の審議）
- ・平成30年12月 3日：第2回審査委員会
（落札者決定基準等の審議、事業者ヒアリングの方法に関する審議）
- ・令和元年 6月14日：第3回審査委員会
（審査の進め方、提案内容の審議）
- ・令和元年 6月21日：第4回審査委員会
（提案グループに対するヒアリング
提案内容の審議、優秀提案選定の審議、優秀提案の選定、
審査講評のまとめ）

3. 資格審査

市は、次の2グループ（「表1 入札参加者（グループ）」）が提出した入札参加表明書及び参加資格確認申請書等を審査し、2グループすべてが参加資格要件を満たしていることを確認しました。

表1 入札参加者（グループ）

グループ	代表企業	構成企業	協力企業
A グループ	・東海食膳協業組合	・株式会社オノコム ・株式会社柳伸建築設計事務所 ・三菱電機ビルテクノサービス株式会社 中部支社 ・株式会社マルゼン 豊橋営業所	・新日本空調株式会社 名古屋支店 ・株式会社三立 ・イシダ厨機株式会社 ・兼八産業株式会社 ・ナッシュ保険株式会社
B グループ	・株式会社メフォス	・徳倉建設株式会社 ・株式会社オーテック ・株式会社花田工務店 ・管財株式会社 ・株式会社トーエネック 豊橋営業所 ・株式会社アイホー 豊川営業所 ・愛知県東部貨物運送事業協同組合	・株式会社綜企画設計 名古屋支店 ・株式会社百五総合研究所

4. 提案審査

(1) 基礎審査

① 提案価格の確認

市は、入札に参加した2グループそれぞれの入札価格が、すべて予定価格の範囲内であることを確認しました。

② 提案書類の確認

市は、入札に参加した2グループそれぞれの提案書類が、すべて入札説明書等に記載する要求水準等の必要事項を満たしていることを確認しました。

(2) 総合審査

総合審査は、落札者決定基準に基づき、入札価格の評価の得点が40点、提案内容の評価の得点が60点の合計100点満点で評価しました。

① 入札価格の評価（40点）

入札価格については、以下の方法で評価し得点化（小数点第3位以下を四捨五入）した結果、2グループそれぞれの得点は「表2 入札価格の得点」のとおりでした。

$$\text{入札価格Aの得点} = \text{最低の入札価格} \div \text{入札価格A} \times 40$$

表2 入札価格の得点

グループ	Aグループ	Bグループ
入札価格（税抜き）	10,502,784,000円	10,563,690,233円
得点	40.00点	39.77点

② 提案内容の評価（60点）

提案内容については、審査委員会が「表3 内容評価の採点基準」に基づき評価項目ごとにA～Dの4段階で評価したことで得られた採点をもって得点化（小数点第3位以下を四捨五入）した結果、2グループそれぞれの得点は「表4 内容評価の得点」のとおりでした。

表3 内容評価の採点基準

評価	評価内容	採点基準
A	提案内容が優れており、具体的かつ適切な提案がされている	配点×1.00
B	具体的かつ適切な提案がされている	配点×0.75
C	要求水準を超える適切な提案がされている	配点×0.50
D	要求水準を満たす程度	配点×0.25

得点化の際は、小数点第3位以下は四捨五入し、小数点第2位までを求める。

表4 内容評価の得点

(単位：点)

評価項目	配点	Aグループ	Bグループ
1 事業計画全般に関する事項	17	10.90	11.80
1 事業実施体制	3	1.65	2.10
2 資金調達計画・長期収支計画	3	1.95	2.25
3 リスク対応	2	1.20	1.50
4 災害対応	2	1.10	1.50
5 地域経済・地域社会への配慮や貢献	4	3.20	2.20
6 環境への配慮	3	1.80	2.25
2 施設整備業務に関する事項	18	10.80	13.05
1 配置計画、ゾーニング計画、内部動線計画等	4	2.20	3.00
2 調理設備、備品計画	5	3.25	3.50
3 施設、設備のメンテナンス性	4	2.20	3.00
4 周辺の環境・景観への配慮	2	1.20	1.30
5 施工計画、施工方法等	3	1.95	2.25
3 維持管理業務に関する事項	7	3.85	5.55
1 維持管理体制、維持管理業務	2	1.10	1.30
2 施設の長寿命化、修繕計画や引渡し方法等	5	2.75	4.25
4 運營業務・開業準備業務に関する事項	18	9.60	13.70
1 運營業務実施体制・品質の確保	5	2.75	4.00
2 食の安全確保	4	2.20	3.20
3 衛生管理の徹底	4	2.00	3.00
4 配送・回収業務、学校配膳業務	3	1.65	2.10
5 開業準備	2	1.00	1.40
内容評価の得点	60	35.15	44.10

③ 審査結果

2グループそれぞれの入札価格の得点と内容評価の得点との合計得点は「表5 総合審査の合計得点」のとおりであり、最も得点の高かった株式会社メフォスを代表企業とする応募者（Bグループ）の提案を優秀提案として選定しました。

表5 総合審査の合計得点

グループ	Aグループ	Bグループ
入札価格の得点	40.00 点	39.77 点
内容評価の得点	35.15 点	44.10 点
合計得点	75.15 点	83.87 点

5. 審査講評

(1) 各審査項目の講評

①事業計画全般に関する事項

評価項目	講 評
事業実施体制	<u>Aグループ</u> HACCPチーム、リスク分析等の事業実施体制の提案があった。 <u>Bグループ</u> リスク回避等の事業実施体制やセルフモニタリング提示等の具体的な提案を評価した。
資金調達計画・長期収支計画	<u>Aグループ</u> 事業計画や内部留保等の不測の資金需要に対する対応策、資金調達の安定性・確実性の提案を評価した。 <u>Bグループ</u> 事業計画や資金調達の劣後ローン等の安定性・確実性の具体的な提案を評価した。
リスク対応	<u>Aグループ</u> リスク分担等のリスク対応の提案、バックアップサービサー等のバックアップ体制の提案を評価した。 <u>Bグループ</u> リスク対応（分析・分担）の提案、バックアップ体制の具体的な提案を評価した。
災害対応	<u>Aグループ</u> BCPの策定、非常用発電や、被害を最小化するための予防策等の提案があった。 <u>Bグループ</u> 災害発生時のバックアップ体制や、停電発生時の給食提供に関する具体的な提案を評価した。
地域経済・地域社会への配慮や貢献	<u>Aグループ</u> 市内企業への高い発注割合や、障がい者雇用の具体的な提案を高く評価した。 <u>Bグループ</u> 市内企業への発注割合や、地元企業の活用・地元の資材

評価項目	講評
	等の調達等の提案があった。
環境への配慮	<u>Aグループ</u> CO2削減効果や、CASBEE等の省エネルギーの提案を評価した。 <u>Bグループ</u> エコマテリアル等の採用や、エネルギーコンサルによるデータ分析、廃棄物の減量化等の具体的な提案を評価した。

②施設整備業務に関する事項

評価項目	講評
配置計画、ゾーニング計画、内部動線計画等	<u>Aグループ</u> 一般車両とその他車両の明確な分離動線や、ゾーニング計画、動線、給食エリアの温湿度管理・騒音防止等の提案があった。 <u>Bグループ</u> 明快な周回動線や、HACCPの概念を取り入れたゾーニング、交差汚染防止等の具体的な提案を評価した。
調理設備・備品計画	<u>Aグループ</u> 献立を踏まえた調理設備の選定や、将来の受配校やクラス数の増加に対応した計画・設計の提案を評価した。 <u>Bグループ</u> 献立を踏まえた調理設備の選定や、将来の受配校やクラス数の増加に対応した計画・設計の具体的な提案を評価した。
施設、設備のメンテナンス性	<u>Aグループ</u> 大型扉、クレーン設置スペース等のメンテナンスに関する提案や、トップランナー汎用品等の採用等の提案があった。 <u>Bグループ</u> ライフサイクルコストの縮減、メンテナンススペースの工夫等に関する提案や、長寿命化の具体的な提案を評価した。
周辺の環境・景観への配慮	<u>Aグループ</u> 騒音・振動等に配慮した配置等の提案や、周辺環境に調和したデザインの提案、待機スペース等の提案を評価した。 <u>Bグループ</u> 騒音・振動等に配慮した配置等の提案や、周辺環境に調和したデザインの提案、渋滞発生緩和等の提案を評価した。
施工計画、施工方法等	<u>Aグループ</u> 効率的な工程管理・工法、近隣住民への対応、騒音・振動等への配慮の提案を評価した。 <u>Bグループ</u> 効率的な工程管理・工法、近隣住民への対応及び、騒音作業時間の制限等、騒音・振動等への配慮の具体的な提案を評価した。

③維持管理業務に関する事項

評価項目	講評
維持管理体制、維持管理業務	<u>Aグループ</u> 維持管理業務の配置人数や経験・資格等を有する人材の確保や、非常時における支援体制等の提案があった。 <u>Bグループ</u> 維持管理業務の配置人数や経験・資格等を有する人材の確保や、指揮命令系統の具体的な提案を評価した。

施設の長寿命化、 修繕計画や引渡 し方法等	<u>Aグループ</u> LCC縮減計画や、維持管理修繕計画、事業期間終了時における円滑な業務引き継ぎの提案があった。 <u>Bグループ</u> LCC縮減計画や、引き渡される施設の水準・状態、事業期間終了後のサポート体制等のより具体的な提案を特に高く評価した。
-----------------------------	--

④運營業務・開業準備業務に関する事項

評価項目	講評
運營業務実施体制・品質の確保	<u>Aグループ</u> 実務経験のある人材配置・その他の人員配置の提案や、3段階のセルフモニタリング体制等、実施体制の提案があった。 <u>Bグループ</u> 実務経験のある人材配置や、複層的なセルフモニタリング等、運營業務の品質確保のより具体的な提案を高く評価した。
食の安全確保	<u>Aグループ</u> 食中毒や異物混入の防止及び事故後の対策や、アレルギー対応食の安全性確保の提案があった。 <u>Bグループ</u> 食中毒や異物混入の防止及び事故後の対策の具体的な提案、アレルギー対応食の安全性確保の具体的な提案を高く評価した。
衛生管理の徹底	<u>Aグループ</u> 自主衛生検査等や、衛生検査の内容・頻度等の提案があった。 <u>Bグループ</u> 自主衛生検査の内容・頻度・対応等や、従業員の健康管理・衛生管理、教育・訓練の具体的な提案を評価した。
配送・回収業務、 学校配膳業務	<u>Aグループ</u> 配送の安全確保・衛生管理等や、各校の個別の事情も考慮した提案があった。 <u>Bグループ</u> 配送の安全確保・衛生管理等や、学校別タイムスケジュール等、学校配膳業務に関する具体的な提案を評価した。
開業準備	<u>Aグループ</u> リハーサル、研修プログラム等、開業時からの円滑な給食の提供開始に向けた適切な計画の提案があった。 <u>Bグループ</u> 従業員研修、リハーサル等、経験に基づく開業時からの円滑な給食の提供開始に向けた計画の具体的な提案を評価した。

(2) 総評

本事業の入札に参加した2グループの提案は、いずれも本事業の目的を踏まえたうえで、市が要求する水準を上回っている優れた内容でした。

Aグループの提案は、市内企業への高い発注率や、市内関係機関と連携のもと法定雇用率を大幅に上回る障がい者雇用の実現など、地域経済・地域社会への貢献に対する提案を高く評価しました。

Bグループの提案は、事業契約期間終了後の施設の引き渡しについて要求水準を上回る様々な提案や、運營業務の実施体制に関するより具体的な提案等を高く評価しました。

入札価格・提案内容の総合評価の結果、株式会社メフォスを代表企業とする応募者（Bグループ）の提案を優秀提案として選定しましたが、Aグループの提案についても地元企業の強みを活かした優れた内容でした。

最後に、今回、本事業の入札に参加していただいた両グループの皆様に、心から感謝を申し上げます。

（3）事業実施にあたっての要望

本事業をより良いものとするため、優秀提案者に選定したBグループに対し、審査委員会として次の点について適切な対応を要望します。

- 豊橋市の学校給食の実状を事前に十分把握した上で、事業に取り組むこと。
- 豊橋の学校給食の特徴を的確に捉え、充実した給食運営ができる資質をもった適切な責任者を配置すること。
- 提案された環境への効果について、その効果の見える化を図るとともに、経年的な効果を報告すること。
- 豊橋市の献立に応じた適正な数の回転釜の設置や調理設備の改善に取り組むこと。
- フードレス空調は、適切な運用が図れるよう設計・施工すること。
- 清掃等維持管理は、その効果の把握に努め、施設にあった的確な業務になるよう取り組むこと。
- 障がい者雇用など、地域経済・地域社会への配慮や貢献に、より一層取り組むこと。
- 災害発生時に速やかに対応ができるよう、豊橋市内に事業所を設置することを検討すること。
- その他、市の要望に適切に対応できるよう体制を整備すること。